

平成30年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成30年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H30	H31	H32		
岡山県	鏡野町	鏡野町	○	□	-	B	アンケートによる市場調査の結果は厳しく、(株)山田養蜂場との連携も難しくなったことを踏まえ、原木なめこだけでなく収益性を高めるため事業の軌道修正を行う必要がある。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である 人見 哲子 から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

美作大学 生活科学部 食物学科 准教授 人見 哲子

【意見聴取の概要】

目標の達成に向け、取組を進めているものの、市場調査の結果により、厳しい現実と直面している。特に、事業のパートナーである(株)山田養蜂場との連携が難しくなったことは大きな痛手である。全体として、計画どおりの取り組みを進めることが困難であると考えられ、平成30年度の結果をもとに、原木なめこだけでなく収益性を高めるため事業の軌道修正を行う必要がある。